

受験番号

令和4年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

支援学校 理療 解答用紙 (2枚のうち1)

5

得点

(1)

ゆっくりとやさしく皮膚をなでることによって興奮する低閾値機械受容器の求心性線維で、皮膚をやさしく撫でたときの心地よさに関連している。

(2)

艾を燃焼させると、その温度は漸増して最高に達し、ついで漸減する。
施灸部の体表温度変化の速度や最高温度は、艾炷の大きさや固さに応じて異なる。硬くひねった艾は、温度上昇が遅く、高温になり、柔らかくひねった艾ではその逆である。
皮膚の温度変化と生じる皮膚感覚との関係はおよそ次の通りである。
まず、30℃から36℃の間を無関帯といい、冷たくも温かくも感じない。
ついで、36℃以上になると、温かさ、すなわち温覚が起こり、40℃から45℃の範囲で、温覚はピークとなる。
さらに45℃以上になると、痛点が刺激されて痛覚が加わった灼熱感(熱痛)になる。

受験番号	
------	--

令和4年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

支援学校 理療 解答用紙 (2枚のうち2)

5 (続き)

--

(3)	臨床について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	/
	臨床に関する課題を発見し、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。	/
	臨床について、地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師を目指して自ら学び、適切かつ合理的な施術に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	/

--